

# 国土学事始め



大石久和さん

国土技術研究センター理事長

道の空間性を考えてみたいと思います。道が空間的広がりをもつことは、都市の道路を考えると分かります。蛇口をひねれば水が出、排水は下水道から処理され、ガスが使える、といった生活が可能です。生活を支える公共的・公益的システムで「ライフライン」とも呼ばれます。生産地から家庭へ、家庭から処理施設へ、圧倒的部分が道路に埋設さ

れ、路上に設置されています。

道路は車が走り、人が歩き、自転車を通る交通空間ですが、果たしている役割はそれだけではないことが分かります。

大阪・梅田はJR大阪駅や阪急電車などが集中する中心地です。私の若いころです

イバーも道路空間を介して可能になっていきます。これらは道路の収容機能を通じたライフラインサービスです。

道路の空間性の意味はまだあります。阪神淡路の大地震では大規模な都市火災が発生。延焼が止まったのは、幅

## 暮らした安全支える道の空間性

が、地元の反対で街路整備ができず、下に入れる下水道がつながらないため、街路の届かない数軒の汲み取りが残っていた時期がありました。大阪の顔である地域を、バキュームカーが走る時代が続いたのは、街路整備の遅れだったのです。道路の下には、地下鉄の相当部分が走り、電気・電話線のほとんどが道路を介して家庭に届きます。光ファ

の広い道路によってでした。道路は延焼防止という都市防災機能を持ち、災害救援物資や、がれきの一時置き場の役目も果たしました。

大阪御堂筋の銀杏、仙台定禅寺通りのケヤキなど、都市を代表する通りには立派な並木が茂り、街を代表する景観を提供します。道路は都市に緑を供給し、都市の姿も決めています。東京の街は、平面

過密、立体過疎といわれます。土地利用は細分化されてギッシリですが、ニューヨークなどに比べ200階級のビルが建たず、容積率使用が低い。原因は幅の広い幹線街路の未発達にもあります。広い道路に面しては道幅に応じて高いビルが建てられます。道路には民間のビル形成機能もある、と思います。

大都市のヒートアイランド現象に対し、幅広い道路の通風空間の役割も注目されます。風の道の確保にも街路が必要というわけです。街の採光空間としても役立ちます。家庭やビルに太陽光を入れるには、広い道幅ほど機能します。みんなのもの、公のものである道が、一人々々の暮らして安全を支えていることがわかりますね。